

# 夏本番！ その前に

梅雨が明けると暑い夏。海や山でのレジャーシーズンを迎えます。楽しい反面、事件や事故の危険とも隣り合わせ。楽しい夏の思い出をたくさん作るためにも十分な対策をしておきましょう。暑い季節では家で過ごすときにも注意が必要です。

## 水が恋しい季節。 海や川で遊ぶ前に。 水の事故対策

- 遊泳禁止のところ、深いところ、流れの速いところでは遊ばない。
- 泳ぐ前には必ず準備運動をする。
- 天気が悪いときや、波が高いときは水辺で遊んだりしない。
- お酒を飲んだら泳がない。
- 気分が悪くなったら、すぐに水からあがる。
- 小さい子どもから目を離さない。
- 溺れている人を見つけたら、大きな声で協力者を呼ぶ。

## 夏の風物詩の一つ。 正しく遊ぼう。 花火の事故対策

- 燃えやすいものがない広くて安全な場所を選ぶ。
- 風の強い日は中止する。
- 子どもだけで絶対に花火をさせない。
- 注意書きを必ず読む。
- 消火用の水バケツを用意する。
- ライターで着火しない。

## 7〜8月がピーク。 適切な予防を。 熱中症対策

- こまめな水分・塩分補給をする。
- 熱中症になりにくい室内環境で過ごす。
- 高齢者は特に注意が必要。こまめな水分補給や温度調整をする。
- 無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用する。
- 体調に合わせた取り組みをする。
- 帽子の着用など外出時の準備を行う。

## レジャーでは必須。 飲酒運転は絶対しない！ 車のトラブルへの対策

- 外出前に車両に異常がないかチェック。
- レジャーの疲れなどで注意力が低下するので安全運転を心がける。
- 車上ねらいに注意。海水浴などで駐車場に駐車する時は、必ず窓を閉めてロックを。
- 車内に貴重品を置き去りにしない。

## 大きな声で助けを呼ぶ。 自己防衛を心掛ける。 犯罪への対策

- 夏は薄着になったり、夜の外出の機会が増える傾向。痴漢や性犯罪、ひったくりなどの犯罪に心構えを。
- 周囲の状況に注意したり、自宅の窓は確実に施錠する。
- メールなどをしながら歩かない。

## 低い山でも油断禁物。 的確な判断を。 山の事故対策

- 熱中症や脱水症状にならないよう十分な水分補給を。
- 体の具合が悪くなったら無理をしないで下山する。
- 暑さ、寒さ対策も考慮し、装備品の入念な準備をする。
- ゆとりある計画を立て、早めの下山を。
- 雷雲や夕立が発生しやすくなる夕方には注意する。
- 山登りには、子どもだけで行かない。

### ▼緊急時の連絡先

柏屋南部消防署 ☎935・5111  
柏屋警察署 ☎939・0110